

玉山国立公園生態保護区登山計画書模範例

説明：

その他ルートは既定ルートではないため、計画された登山道・標識・セキュリティおよび宿泊施設など人工的な建物はなく、しかも本所が定期的に巡回検査をしているエリアではありません。入園前に例えば体力・技術的なトレーニング・ルートに対する理解・危機処理能力・不備の無い留守番(待機) 人員およびバックアップ計画等安全に関する登山出発前の準備を自身で確認する必要があります。入園時は自分の力に合わせてください。山道は崖崩れ等困難な地形・落石・野生生物等自然のリスクに常に晒されています。もし危険や困難に遭遇した場合は、無理に通過せず、安全第一を原則としてください。歩行時や宿営時には、元来の自然生態環境を破壊しないようにしてください。また生態保護区元来の自然生態環境を保存するために、その他ルートは登山活動のニーズにより、関連施設を増設しないことを原則とします。その他ルートを申請する時は、登山計画書をアップロードしてください。登山計画書は登山チームが事前に詳しく登山出発前の準備、例えば行程計画・携行品・チームメンバーの経験や体力評価・エスケープルート(計画を変更した時の下山ルート)・緊急事故処理計画・家族や知人への報告および生態環境維持等の事項のお手伝いも可能です。

● エスケープルート：

地形・メンバー・天候状況に障害や困難が生じた場合は、園エリア内(関山前)の中之関あるいは天地稜線ルートに沿って、もとの道を後退し、規制に違反して進涇橋歩道ルートおよび天地から向陽までのまだ通行を開放していない自動車道区間を使用しないでください。園エリア外(関山以南)で遅延・障害・困難が生じた場合は、その他の例えば小関山林道・藤枝等の出入口に沿って下山してください。許可されていない入場日に公園に出入りすることはできません。

● リスク管理および緊急対応関連計画：

1. 園エリアの災害と天候情報を十分に理解するために、出発前に登山安全講習を行います。長距離縦走登山ルートにはよく路面の崩れ・はっきりしない道・断崖・困難な地形等リスクのある区間がありますので、あらかじめ多くの最新のルート情報を収集し、行程のリスクを

適切に評価してください。全てのチームメンバーが自身とチームの安全の責任を負い、例えば体力・技術的なトレーニング・ルートに対する理解・危機処理能力・不備の無い留守番(待機)人員及びバックアップ計画等安全に関する登山出発前の準備を自身で確認する必要があります。

2. 全てのチームメンバーは皆十分な登山経験を持っていて、且つ個人およびグループ用の装備を備え、並びに登山出発前準備が完了し、関連する保険に加入していなければなりません。
3. 行程の中で悪天候(豪雨・台風等)に遭遇する可能性がありますので、登山に行くのを避けるために、出発前には随時天候やルート開放状況に注意を払ってください。
4. 親族(緊急連絡先/留守番(待機)人員)にきちんと登山の行程・起こりうるリスクおよび緊急連絡事項を告知し、長距離縦走登山行程で必ず留守番(待機)人員と行程の把握と山岳事故救援時に、すばやく状況把握できるように連絡の場所と時間を約束してください。
5. 登山時は自分の力に合わせてください。もし危険や困難に遭遇した場合は、無理に通過せず、安全第一を原則としてください。登山では高山病・低体温症や転落したり、道に迷ったり意外な事故が起こるリスクがあります。随時チームのメンバーの状況・ルートの状況・天候に注意して、且つ予想外の事故を減らすために、メンバーが1人きりになることを避けてください。歩行時や宿営時には、元来の自然環境を破壊しないようにしてください。

● **生態環境の維持事項：**

1. 国立公園生態保護区に入るための関連規則を遵守してください。
2. 環境および生態への影響を軽減するために、山林に痕跡を残さない(Leave No Trace)ガイドラインを充分理解してください。
3. 野生の動植物に影響を与えないようにし、いかなる廃棄物や物を残さないようにしてください。
4. すでに申請許可されて入ったルートやエリアから離れないでください。
5. 国立公園の保全巡回検査及び行動に協力し、チームのメンバーに言動を促すのを支援してください。